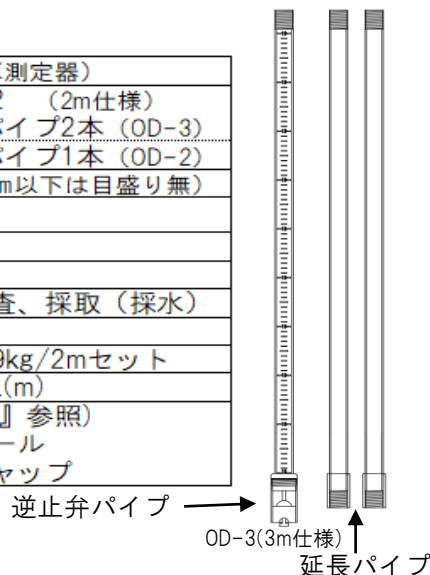


オディプロ2号 取扱説明書

オディプロ2号は、各種沈殿槽の汚泥界面、水断層測定、河川等のヘドロ堆積状態調査に最適です。入れて引き上げるだけで試料の採取ができ、目視測定が出来るようになります。

仕様

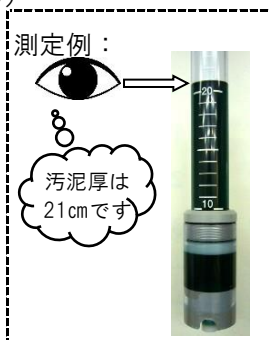
品名	オディプロ2号 (汚泥厚測定器)
型式	OD-3 (3m仕様) OD-2 (2m仕様) 逆止弁パイプ1本、延長パイプ2本 (OD-3) 逆止弁パイプ1本、延長パイプ1本 (OD-2)
測定目盛	10~100cm (1cm間隔、10cm以下は目盛り無)
測定精度	±2cm以内 (一定条件)
材質	PVC、PE、POM
使用温度	0~45℃
使用目的	汚泥界面測定、水断層調査、採取 (採水)
採取量	約500ml/1m
重量	約1.3kg/3mセット・約0.9kg/2mセット
外形寸法	φ48(逆止弁部)×φ34×L(m)
消耗品	先端部(『消耗品について』参照) シャフト・ガイド付ボール ストッパー付バルブキャップ



使用方法

- 測定する槽の深さに応じてオディプロ2号を繋ぎ合わせます。
- オディプロ2号を水面に対し垂直にし、逆止弁の方からゆっくりと沈殿槽に沈めていきます。(斜めに入れると正確な測定ができません)
- 先端が底に着いたら、ゆっくりと引き上げてください。
- 目盛りを読んで汚泥厚 (堆積物) を測定してください。

- ※10cm以下は目盛りがありません。
- ※目盛りの範囲は10~100cmです。
- ※固まりのある汚泥の測定は困難な場合があります。
- ※斜めや水平、逆さにはしないでください。故障の原因になります。



排水方法

- 採取した水を排出する場合は、先端の突起を平らな面に置くことで水が排出されます。

- ※先端の突起はバルブキャップ面より約1cm出ています。
- ※平らな面に突起を当てた場合、バルブキャップにある半円の穴から勢い良く水が出る事がありますので注意してください。

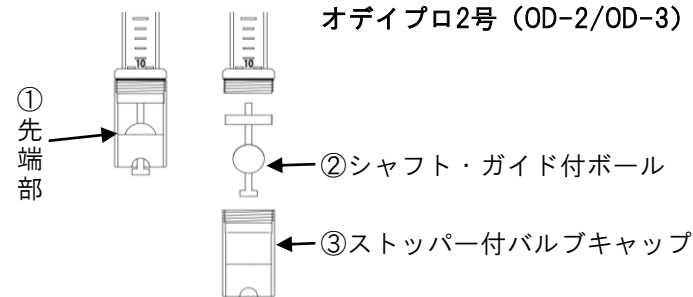
使用後について

- 本測定器は、縦方向以外の力が加わると故障の原因となりますので、接続した状態で斜めや水平、逆さにしないでください。1m単位であれば横に置いて保管しても大丈夫です。
- 使用後は、水道水にて内側・外側とも洗い流してください。
- 汚泥が内側に残ると水漏れや故障の原因になります。
- 保管時は1m単位にし、出来るだけ水気をとって直射日光・高温・多湿を避けてください。
- 先端部は磨耗して徐々に水が漏れてくることがあります。先端部のみであれば消耗品として部品販売をしておりますので、お買い求めください。

消耗品について

逆止弁パイプの先端部(下図左①)は磨耗して性能が劣化していくことがありますので先端部を消耗部品としました。以前よりも水が漏れるようになったり、破損することがあった場合は先端部分を交換してください。

オディプロ2号 (OD-2/OD-3) 用部品



先端部は②シャフト・ガイド付ボールと③ストッパー付バルブキャップから構成されています。それぞれ購入可能ですが、先端部一式(②+③)にて交換されることをお勧め致します。

- ※ 先端部交換部品ご購入の際は、オディプロ2号用部品、②シャフト・ガイド付ボール もしくは③ストッパー付バルブキャップ 又は 先端部一式②+③とご用意ください。

オディプロキャリアー OD-C

汚泥厚測定器 オディプロ2号/3号の収納・運搬に便利なオディプロキャリアー OD-Cをご用意しております。(別売品)

